

報道資料

解 禁

元ビ・ジオ 7月7日（金曜日）17時以降

新聞 7月8日（土曜日）朝刊から

文部科学省の指示により全国統一発表

平成29年7月4日

熊本県内の公立小中学校施設の耐震改修状況について

文部科学省から、公立学校施設の耐震改修状況調査の結果（平成29年4月1日現在）が公表されました。

熊本県内の公立小中学校の状況については、以下のとおりです。

1 構造体の耐震化

- 県内公立小中学校施設の耐震化率：99.8%〔全国平均 98.8%〕
- 耐震化率は、全国で第15位（前年度6位）。九州では、第3位（前年度1位）
- 前年度（99.8%）からの耐震化率の伸び：0.0ポイント
- 耐震化が完了した学校設置者は、46設置者中45設置者（前年度と同じ）
- 耐震性がない建物：5棟（前年度と同じ）
- 耐震性がない建物のうち、震度6強以上の地震で倒壊する危険性が高いとされる

Is(アイ)値 0.3未満の棟数：0棟（前年度と同じ）

※ Is(アイ)値とは「構造耐震指標」と言い、建物の構造的な耐震性能を評価する指標。

Is値が大きいほど耐震性が高いとされる。

2 屋内運動場等の吊り天井の落下防止対策

- 対策が未実施の吊り天井を有する屋内運動場等：12棟（前年度 45棟）
（屋内運動場等の全棟数599棟の2.0%）

※ 調査対象は、屋内運動場・武道場・講堂・屋内プールのうち、高さ6メートルを超える吊り天井、または、水平投影面積が200㎡を超える吊り天井を有する建物。

お問い合わせ

教育庁 教育総務局 施設課

そうま たかみや しょうじなが
相馬・高宮・小路永（内線6751）

ダイヤル（333-2714）